

プラスチック対策を通じた社会的課題の解決

<10年後の目指すべき姿>

- ①回避可能なプラスチックの使用が可能な限り合理化されている
- ②今は単純焼却や埋立処理されているプラスチックがすべてリサイクルされている
- ③天然資源の消費が抑制され、環境負荷の小さいプラスチックのリサイクルが徹底されている

すべての県民や事業者が  
プラスチックのスマートな利用を実践  
天然資源の消費抑制、温室効果ガスの発生抑制

プラスチック資源循環の高度化

①高度なリサイクルシステムの構築

県内にペットボトルの水平リサイクル（BtoB）に資する工場が立地することを契機に、プラスチック資源循環促進法案を踏まえた、プラスチック資源の高度化を促進。

（当面の取組）

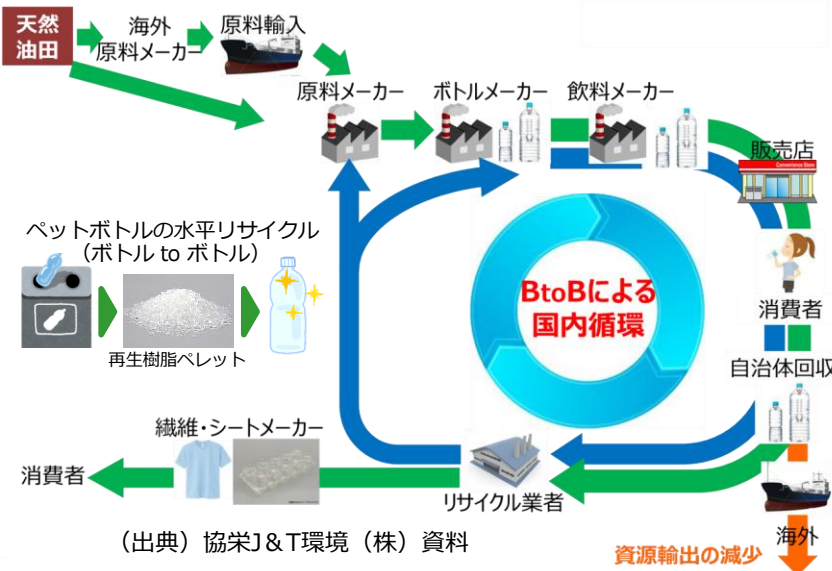
- ・点在する自動販売機から、より効率的にペットボトルを回収し、回収したペットボトルのBtoBを促進するため、**飲料メーカーと連携した協働回収のモデル事業を実施。**
- ・未利用のプラスチック資源の活用に向けて、ケミカルリサイクル等の高度なリサイクル技術の開発に取り組んでいる事業者と連携し、**県内での導入をめざした調査研究等を実施。**

②発生・循環利用の促進に向けた研究開発・施設整備等の支援

循環関連産業の振興を通じて、産業廃棄物のさらなる**3R+Renewable**を促進するため、**産業廃棄物税を活用して事業者等を支援。**

【R3から制度を拡充】

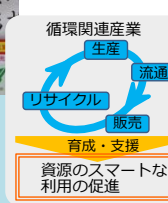
- ・プラスチックの減量化や有効利用を図るための設備機器整備の場合、補助上限額を2,000万円から5,000万円に増額
- ・補助対象に産業廃棄物処理業者を追加
- ・高度なリサイクルを行う場合の補助率は、中小企業1/2、大企業1/3、業廃棄物処理業者1/3



（出典）協栄J&T環境（株）資料

資源のスマートな利用の促進

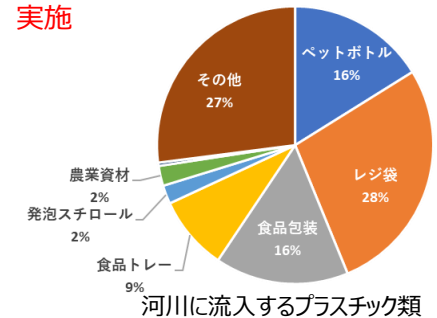
「みえスマートアクション宣言事業所登録制度」により **事業者による自主的な資源循環の取組を促進**（登録事業所数：815(R3.7.20時点)）



海洋プラスチックごみ対策

①不法投棄対策

陸域から海域への流出防止に向け、河川プラスチック調査結果を踏まえた**不法投棄防止対策を事業者と連携し実施**



②県民や事業者への情報発信

ごみ拾いをスポーツとして楽しみながら環境問題に気づいてもらうことを目的にスポGOMI大会を開催。（令和3年9月、伊勢市で開催予定）



持続可能な循環型社会の実現に向けて

地域におけるプラスチックの高度なリサイクルループの構築（サーキュラーエコノミーの視点も踏まえて）